

2. 広報

(1) 農業環境技術研究所が開催した研究会・シンポジウム

第3回公開セミナー「外来植物のリスクを調べて、その蔓延を防止する～外来植物とどう対峙するか?～」

(科学技術振興調整費重要問題解決型プロジェクト・アウトリーチ活動)

開催日：平成18年8月5日

開催場所：岡山大学 創立五十周年記念館

主催：(独)農業環境技術研究所

共催：岡山大学環境理工学部、日本雑草学会雑草利用研究会、児島湖流域エコウェブ

国際ワークショップ「侵入生物に対するアジア・太平洋外来生物データベースの構築」

開催日：平成18年9月19日 - 21日

開催場所：台中市・台湾農業薬物毒物研究所(台湾)

主催：(独)農業環境技術研究所、亜太糧食肥料技術中心(FFTC)、台湾動植物衛生検疫局(BAPHIQ)、台湾農業薬物毒物試験所(TACTRI)

参加国：7か国(カンボジア、タイ、台湾、日本、フィリピン、ベトナム、マレーシア)

参加者数：60名

日韓共同国際シンポジウム 農業生態系における窒素の動態と有効な窒素管理手法

開催日：平成18年9月21日 - 22日

開催場所：国際会議場(韓国、水原、農村振興庁)

農業と環境を考える - 農業環境技術研究所 研究成果発表会2006 -

開催日：平成18年9月28日

開催場所：新宿明治安田生命ホール

参加者数：221名

第6回有機化学物質研究会「化学物質の大気中への飛散・揮散問題とその対策」

開催日：平成18年10月5日

開催場所：(独)農業環境技術研究所

参加者数：119名

第23回農薬環境動態研究会「マイナー作物を取り巻く農薬残留問題と今後の課題」

開催日：平成18年10月6日

開催場所：(独)農業環境技術研究所

参加者数：122名

第4回公開セミナー『外来植物の「リスク」を調べて蔓延を防止する - 研究開始後1年間に得られた成果について - 』

(科学技術振興調整費重要問題解決型プロジェクトアウトリーチ活動)

開催日：平成18年10月21日

開催場所：電気ビル(福岡市)

主催：(独)農業環境技術研究所

後援：福岡市、西日本新聞社

参加者数：75名

第4回環境研究機関連絡会成果発表会「広がる環境研究フロンティア」

開催日：平成18年11月28日

開催場所：つくば国際会議場

参加者数：123名

「自然共生」プロジェクトシンポジウム

= 恋瀬川流域の水・生態環境 = 自然と共生する農林水産業の確立に向かって

開催日：平成18年12月8日

開催場所：つくば国際会議場

共催：農林水産技術会議事務局、(独)農研機構農村工学研究所・九州沖縄農業研究センター、(独)農業環境技術研究所、(独)森林総合研究所、(独)水産総合研究センター

参加者数：120名

第5回公開セミナー『外来植物の「リスク」を調べて蔓延を防止する - これまでの研究成果と今後重要となる問題点 - 』

(科学技術振興調整費重要問題解決型プロジェクト・アウトリーチ活動)

開催日：平成18年12月10日

開催場所：東京国際フォーラム

主催：(独)農業環境技術研究所

後援：農林水産省、環境省

参加者数：127名

NIAES 国際シンポジウム2006「モンスーンアジアにおける持続的農業のための環境資源の評価と有効利用～国際研究協力に向けて～」

開催日：平成18年12月12日 - 14日

開催場所：つくば国際会議場

主催：(独)農業環境技術研究所

後援：農林水産技術会議事務局

参加者数：276名

第24回土・水研究会「物質循環の基盤としての土壌 - 炭素循環における役割 - 」

開催日：平成19年2月21日

開催場所：農林水産技術会議事務局筑波事務所

参加者数：122名

第23回気象環境研究会「大気環境変化と植物の応答」

開催日：平成19年3月9日

開催場所：(独)農業環境技術研究所

参加者数：122名

公開シンポジウム：未来型農業都市社会と食農産業クラスターの構築に向けて

開催日：平成19年3月12日

開催場所：豊橋技術科学大学(愛知県豊橋市)

参加者数：百数十名

(2) 刊行物一覧

平成18年度中に当所が出版した刊行物は次のとおりである。

誌名・巻号等	発行年月	頁数	発行部数	
農業環境技術研究所資料 「農業環境技術研究所所蔵微生物さく葉標本目録」	第30号	19.3	168	850
農業環境技術研究所資料 「アジア太平洋外来生物データベース (APASD) マニュアル」	第31号	19.3	32	850
農業環境技術研究所年報	平成17年度	19.3	149	1,400
NIAES Annual Report	2006	19.3	92	900
農環研ニュース	No.71	18.7	12	1,600
農環研ニュース	No.72	18.10	14	1,600
農環研ニュース	No.73	19.1	12	1,600
農環研ニュース	No.74	19.3	14	1,600
研究成果情報 (旧誌名：農業環境研究成果情報)	第23集	19.3	51	600
研究所リーフレット(和文)	概要版	18.6		4,000
研究所リーフレット(英文)	概要版	18.8		2,000
研究所パンフレット(英文)	小型版	18.8		2,000
研究所パンフレット(和文)	標準版	18.8		5,000
研究所パンフレット(英文)	標準版	18.8		2,000
研究所パンフレット(和文)	詳細版	19.3		3,000
土壌モノリス館	パンフレット	19.3		2,000
温室効果ガス発生制御施設	パンフレット	19.3		2,000

(3) 情報：農業と環境 (No.72~83)

* 「情報：農業と環境」は当所のホームページ (<http://www.niaes.affrc.go.jp>) に掲載している。

No.72 (2006.4.1)

- ・新たな中期計画の開始にあたって
- ・農業環境技術研究所の新組織
- ・平成17年度農業環境研究推進会議の詳細
- ・公開セミナー「外来植物のリスクを調べて、その蔓延を防止する」が倉敷市で開催された
- ・第22回気象環境研究会「土壌と大気におけるガス交換のインターフェイスとしての植物の役割」が開催された
- ・農業環境研究成果情報 - 第22集 - が刊行された
- ・NIAES Annual Report 2005 が刊行された
- ・国際情報：適正農業規範 (GAP)
- ・本の紹介 198：科学技術社会論の技法、藤垣祐子 編、東京大学出版会 (2005)

No.73 (2006.5.1)

- ・農業環境技術研究所の新たな中期目標と中期計画
- ・農業環境技術研究所の理念・行動憲章・環境憲章
- ・第3期科学技術基本計画の決定
- ・第三次環境基本計画の決定

- ・ 農業環境技術研究所と東京大学との教育研究協定が締結された
- ・ 昆虫文献目録「三橋ノート」画像データベース
- ・ 秋山博子氏：平成18年度文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞
- ・ 山村光司氏：第50回日本応用動物昆虫学会賞を受賞
- ・ 国際ワークショップ「モンスーンアジア農業生態系における温室効果ガス発生」が開催された
- ・ 日韓共同国際ワークショップ「農業生態系における窒素負荷と河川・地下水への流出：モニタリングとモデルによる解析」が開催された
- ・ 農業環境技術研究所の一般公開が行われた
- ・ インベントリー展示館に肥料・煙害展示室がオープンした
- ・ 農業環境技術研究所年報 第22号（平成16年度）が刊行された
- ・ 農業環境技術研究所報告 第24号が刊行された
- ・ 農業環境技術研究所資料 第29号が刊行された
- ・ 本の紹介 199：10年後の日本、「日本の論点」編集部編、文藝春秋社（2005）

No .74 (2006 .6 .1)

- ・ 独立行政法人農業環境技術研究所平成18年度計画
- ・ 遺伝子組換え作物栽培実験 説明会（6月3日、つくば）
- ・ 平成18年度農業環境技術研究所評議会が開催された
- ・ 研究プロジェクト「土壌微生物相の解明による土壌生物性の解析技術の開発」の開始
- ・ 食品の安全性に関するリスク管理への取り組み
- ・ 虫の日
- ・ 本の紹介 200：日本の科学/技術はどこへいくのか、中島秀人 著、岩波書店（2006）
- ・ 本の紹介 201：身近な雑草のゆかいな生き方、稲垣栄洋 著、三上修 絵、草思社（2003）
- ・ 本の紹介 202：森の生態史 - 北上山地の景観とその成り立ち -、大住克博・杉田久志・池田重人 編、古今書院（2005）
- ・ 50万人めの訪問者の方に記念品をさしあげます

No .75 (2006 .7 .1)

- ・ 農業と環境を考える - 農業環境技術研究所 研究成果発表会 2006 -
- ・ 第6回有機化学物質研究会「化学物質の大気中への飛散・揮散問題とその対策」
- ・ 第23回農薬環境動態研究会「マイナー作物を取り巻く農薬残留問題と今後の課題」
- ・ つくばちびっ子博士2006「身近な自然から環境を考える」
- ・ つくばリサーチギャラリー 夏休み特別公開
- ・ 論文の紹介：輪作畑の炭素収支
- ・ 本の紹介 203：踊る「食の安全」- 農薬から見える日本の食卓、松永和紀 著、家の光協会（2006）
- ・ 本の紹介 204：生きる力を育む 食と農の教育、嶋野道弘・佐藤幸也 著、家の光協会（2006）

No .76 (2006 .8 .1)

- ・ 公開セミナー「外来植物のリスクを調べて、その蔓延を防止する - 外来植物とどう対峙するか? -」（8月5日、岡山市）
- ・ 「第7回農林水産環境展 EFAFF2006」の開催
- ・ 農林水産省農村振興局資源課農村環境保全室との連絡会が開かれた
- ・ いばらき産業大県フェア2006 ~ものづくりと知の集積産業大県いばらき~ が開催された
- ・ コメのカドミウム濃度の国際基準値が決定された

- ・本の紹介 205： 科学技術の国際競争力 - アメリカと日本相剋の半世紀 -
- ・本の紹介 206： 田んぼの生き物 - 百姓仕事がつくるフィールドガイド
- ・本の紹介 207： 科学者という仕事

No.77 (2006.9.1)

- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト(RP)の紹介(1)有機化学物質リスク評価 RP
- ・農業と環境を考える - 農業環境技術研究所研究成果発表会2006 - (続報)参加申し込みについて / ポスターセッションの内容
- ・農林水産省大臣官房環境政策課との意見交換会が開かれた
- ・第11回 IUPAC 農薬化学国際会議が開催された
- ・サマー・サイエンスキャンプ2006が開催された
- ・つくばちびっ子博士2006「身近な自然から環境を考える」が実施された
- ・論文の紹介： 下水汚泥を施用した土壌のカドミウム収着特性
- ・本の紹介 208： 環境ホルモン - 水産生物に対する影響実態と作用機構 -
- ・本の紹介 209： 増補改訂版リスク学事典
- ・本の紹介 210： 系統樹思考の世界

No.78 (2006.10.1)

- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト(RP)の紹介(2)畑土壌生物多様性 RP
- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト(RP)の紹介(3)温暖化モニタリング RP
- ・農業と環境を考える - 農業環境技術研究所研究成果発表会2006 - が開催された
- ・「多様な生物を育む農林水産業へ向けて」 - 自然共生プロジェクト生態系チームシンポジウム - (10月4日)
- ・公開セミナー： 外来植物の「リスク」を調べて蔓延を防止する - 研究開始後1年間に得られた主な成果について - (10月21日、福岡市)
- ・アグリビジネス創出フェア2006 - 出会えます！最新技術シーズとビジネスパートナー (10月25・26日、東京)
- ・豊橋技術科学大学と農業環境技術研究所との連携推進協定が結ばれた
- ・資料の紹介： 「森林・農地・水域を通ずる自然循環機能の高度な利用技術の開発」成果集
- ・資料の紹介： 「環境影響評価のためのライフサイクルアセスメント手法」研究成果報告書、同別冊：「LCA手法を用いた農作物栽培の環境影響評価実施マニュアル」
- ・論文の紹介： 好気的環境にある陸生植物からメタンが発生している
- ・本の紹介 211： ワールドウォッチ研究所地球白書2006 - 07
- ・555,555人めの訪問者の方に記念品をさしあげます

No.79 (2006.11.1)

- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト(RP)の紹介(4)重金属リスク管理 RP
- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト(RP)の紹介(5)外来生物生態影響 RP
- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト(RP)の紹介(6)農業空間情報 RP
- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト(RP)の紹介(7)情報化学物質生態機能 RP
- ・第4回環境研究機関連絡会成果発表会「広がる環境研究フロンティア」(11月28日)
- ・NIAES 国際シンポジウム2006： 「モンsoonアジアにおける持続的農業のための農業資源の評価と有効利用 - 国際研究協力に向けて - 」(12月12 - 14日)
- ・佐藤洋平理事長： 国際農業工学会功労賞 (CIGR Merit Award) を受賞
- ・農業環境技術研究所研究成果発表会2006： 「農業と環境を考える」の報告
- ・公開セミナー： 外来植物のリスクを調べて、その蔓延を防止する - 外来植物とどう対峙するか? - が岡山市で開催

された

- ・国際ワークショップ「侵入生物に対するアジア・太平洋外来生物データベースの構築」が台湾で開催された
- ・「多様な生物を育む農林水産業へ向けて」- 自然共生プロジェクト生態系チームシンポジウム - が開催された
- ・第6回有機化学物質研究会「化学物質の大気中への飛散・揮散問題とその対策」が開催された
- ・第23回農薬環境動態研究会「マイナー作物を取り巻く農薬残留問題と今後の課題」が開催された
- ・論文の紹介： 大気中 POPs 監視のための世界ネットワークの構築に向けた地球規模での同時モニタリングの試み
- ・本の紹介 212： 環境 - 安全という価値は...
- ・本の紹介 213： 100億人への食糧 - 人口増加と食糧生産への知恵 -

No 80 (2006 .12 .1)

- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト (RP) の紹介(8) 栄養塩類リスク評価 RP
- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト (RP) の紹介(9) 作物生産変動要因 RP
- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト (RP) の紹介(10) 農業環境リスク指標 RP
- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト (RP) の紹介(11) 温室効果ガス RP
- ・玉木佳男氏： 平成18年秋の叙勲で瑞宝中綬章を受章
- ・公開セミナー「外来植物のリスクを調べて蔓延を防止する - 研究開始後の1年間に得られた主な成果について - 」が福岡市で開催された
- ・「びわ湖環境ビジネスメッセ2006」が開催された
- ・「アグリビジネス創出フェア2006」が東京で開催された
- ・公開セミナー外来植物の「リスク」を調べて蔓延を防止する(12月10日、東京国際フォーラム)
- ・論文の紹介： 欧州の5か国における農業環境施策が生物多様性にもたらした効果
- ・論文の紹介： ブドウ灰色かび病菌の生物防除
- ・本の紹介 214： 現代社会における食・環境・健康
- ・本の紹介 215： 地球・環境・人間
- ・本の紹介 216： 環境有機化学物質論

No 81 (2007 .1 .1)

- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト (RP) の紹介(12) 水田生物多様性 RP
- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト (RP) の紹介(13) 炭素・窒素収支広域評価 RP
- ・農業環境技術研究所リサーチプロジェクト (RP) の紹介(14) 環境資源分類・情報 RP
- ・TX テクノロジー・ショーケース・イン・ツクバ2007
- ・第24回土・水研究会「物質循環の基盤としての土壌 - 炭素循環における役割 - 」
- ・第23回気象環境研究会「大気環境変化と植物の応答」
- ・革新的農業技術習得研修「農業環境の情報把握と管理のためのリモートセンシング・地理情報システムの利用技術」が実施された
- ・農業生産者 NPO「田舎のヒロインわくわくネットワーク」と農環研研究者との意見交換・交流会が開催された
- ・NIAES 国際シンポジウム2006「モンスーンアジアにおける持続的農業のための農業資源の評価と有効利用 - 国際研究協力に向けて - 」が開催された
- ・農業環境技術研究所「環境報告書2006」を公表
- ・論文の紹介： コドラート調査における“種の豊富さ”のベイズ推定
- ・本の紹介 217： はじめての環境経済学
- ・本の紹介 218： レスター・ブラウンプラン B2.0 - エコ・エコノミーをめざして
- ・本の紹介 219： 論文捏造

No 82 (2007 2.1)

- ・ 農業環境技術研究所リサーチプロジェクト (RP) の紹介 (15) 遺伝子組換え生物生態影響 RP
- ・ 公開シンポジウム： 未来型農業都市社会と食農産業クラスターの構築に向けて
- ・ 平成19年度の農業環境技術研究所依頼研究員の受入れ
- ・ 農林水産技術会議事務局が2006年の10大研究成果を発表
- ・ 農業環境を巡る2006年の重要ニュース
- ・ 革新的農業技術習得研修「農業環境の情報把握と管理のためのリモートセンシング・地理情報システムの利用技術」のテキストを公開
- ・ 論文の紹介： 日光が植物残さの分解を促進する
- ・ 本の紹介 220： 持続可能なグリーン・ツーリズム - 英国に学ぶ実践的農村再生 -
- ・ 本の紹介 221： アジア環境白書2006 / 07
- ・ 本の紹介 222： 硝酸塩は本当に危険か - 崩れた有害仮説と真実

No 83 (2007 3.1)

- ・ 平成18年度農業環境技術研究所連携推進会議が開催された
- ・ TX テクノロジー・ショーケース・イン・ツクバ2007が開催された
- ・ 国際情報： 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 第4次評価報告書： 第1作業部会報告 (自然科学的根拠)
- ・ 論文の紹介： 生物多様性を進化系統学的な尺度で測る
- ・ 本の紹介 223： 地域と環境が蘇る水田再生
- ・ 本の紹介 224： 不都合な真実
- ・ 本の紹介 225： 植物力人類を救うバイオテクノロジー

(4) マスコミへの情報提供と報道

1) プレスリリース

年月日	件名
18.4.3	昆虫文献目録「三橋ノート」の画像データベースを公開
18.4.6	農業環境技術研究所が東京大学と教育研究の協定を締結
18.4.21	農耕地から発生する温室効果ガスである亜酸化窒素の発生量を正しく推定 - 施肥法改善による抑制の可能性も明らかに -
18.5.18	農業環境技術研究所で行う遺伝子組換えダイズの栽培実験について
18.8.11	農業環境技術研究所が所蔵する昆虫タイプ標本の画像情報を公開
18.8.17	【共同発表】森林による二酸化炭素吸収量の連続測定技術をアジアへ普及 - 人材養成のトレーニングコースを開催 -
18.9.21	農業環境技術研究所が豊橋技術科学大学と連携推進の協定を締結 - 農と工の連携による農業環境研究の新たな展開を目指して -
18.11.7	【環境研究機関連絡会】第4回環境研究機関連絡会成果発表会「広がる環境研究フロンティア」の開催について (お知らせ)
19.1.12	土壌残留農薬を吸収しにくいカボチャ台木でキュウリの汚染を低減

2) 個別取材一覧

取材日	報道日	件名	取材機関	対応者
18.3.30	18.4.18	「イネによるカドミウム汚染土壌の修復技術」について	NHK水戸放送局	村上 政治
18.3.31	18.4.4	東京のタンポポについて	J-WAVE	芝池 博幸
18.4.14	18.4.3	「三橋ノート」および画像データについて	NHK水戸放送局	安田 耕司
18.5.1	18.5.12	「関東地方に見られるタンポポの4割は単一のクローン」について	読売新聞	芝池 博幸
18.5.19	18.6.1	「気候変動で変わる、食と農」について	関西電力・MC&P	岡本 勝男
18.6.7	18.6.9	外来植物のリスク評価と蔓延防止に関する研究について	NHK 水戸放送局	藤井 義晴
18.6.7		アジサイの摂食について	テレビ東京	藤井 義晴 平舘俊太郎
18.9.20	18.11.1	系統樹に基づく進化的な思考法について	読売新聞	三中 信宏
18.10.23	18.10.23	アレチウリについて	テレビ朝日	藤井 義晴
18.10.27	18.11.2	掲載記事内容の確認依頼	アイキューブつくば	藤井 義晴
18.10.31	18.11.14	「農地から発生する亜酸化窒素の削減技術の開発」研究の推挙状況について	朝日新聞仙台支局	秋山 博子
18.11.2		殺虫剤ベルメトリンの特性について	朝日新聞東京本社	上路 雅子
18.11.7	18.12.10	東京MXテレビ「ガリレオチャンネル」の出演要請	ワック株式会社	藤井 義晴
18.11.11	19.2	除草剤ダイズの撮影協力	NHKエンタープライズ	松尾 和人 吉村 泰幸
18.11.20	18.11.24	大阪府下の河川で大発生している外来植物「ウォーターレタス」について	テレビ朝日	藤井 義晴
18.11.29	地方の報道機関へ配信	「気候変動は農業にどのような影響を及ぼすのか」について	共同通信社	横沢 正幸
18.12.7	地方の報道機関へ配信	「植物の力で農耕地のPOPs リスクを低減する」について	共同通信社札幌支社	大谷 卓
18.12.16		「近年の北海道のコメの品質と地球温暖化との関連」「今後のコメ生産に及ぼす地球温暖化の影響」について	NHK	長谷川利拓
18.12.22	19.2.1	「有害化学物質（カドミウム）のリスクを軽減する技術」について	農業技術通信社「農業経営者」編集部	小野 信一
18.12.25	18.12.27	「農耕地から発生する温室効果ガスである亜酸化窒素の発生量を正しく推定」について	日本農業新聞営農部	秋山 博子
18.12.25	19.1.10	「気候変動による県別平均コメ収量の変化予測結果」について	日本農業新聞社	横沢 正幸
18.12.26	18.12.29	「東アジアの農業に起因する窒素負荷と水質汚染の現状」について	日本農業新聞社	新藤 純子
18.12.27	19.1.8	「温暖化・気候変化と作物の生育・収量の関連」について	毎日新聞化学環境部	長谷川利拓
19.1.11	19.1.16	温暖化がコメ生産に与える影響について	TBS テレビ報道局 編集センター	長谷川利拓

取材日	報道日	件名	取材機関	対応者
19.1.25	19.2.18	外来種タンポポの侵入による在来種タンポポへの影響	日本経済新聞社	芝池 博幸
19.1.30	19.2.1	機器の開発趣旨発明の効果等に関する説明	日刊工業新聞	須藤 重人
19.2.1		農薬のリスク管理の現状の説明	フジテレビ	上路 雅子
19.2.2	19.2.3	2060年代の米収量予測図のもととなったデータの提供と解説	日本テレビ	藤井 毅 秋山 博子 長谷川利拡 今川 俊明
19.2.8		地球温暖化が与える、世界の穀物地図：IPCC 4次報告を受けて	毎日新聞社	岡本 勝男
19.2.14	19.2.17	温暖化の影響と考えられる農作物の目に見える変化について	フジテレビ	今川 俊明
19.2.15	19.2.28	ディルドリンを吸収しにくいカボチャ台木について	日本農業新聞	大谷 卓
19.2.15	19.2.21	暖冬で害虫が大発生するかの問い合わせ	読売新聞科学部	平井 一男
19.2.20		温暖化で降雪量が減少する際の農業場面での影響について	テレビ朝日 ウエザーセンター	今川 俊明
19.3.6	19.4.1	定期企画「ストップ温暖化」への資料提供等の協力要請	ジン・ネット	野内 勇 長谷川利拡
19.3.6	19.6.6	気候変化が農業へ及ぼす影響について（平成19年版環境・循環型社会白書）	環境省総合環境政策局	横沢 正幸
19.3.6	19.4.8	温暖化によるコメ生産の将来予測について	朝日新聞社	横沢 正幸
19.3.7		モウソウチクをソバで防除する方法について	日本放送協会	藤井 義晴
19.3.14	19.4.8	気候変化が日本のコメ生産へ及ぼす影響評価（3月6日の追加取材）	朝日新聞社	横沢 正幸
19.3.28	19.5.1	地球温暖化が農業に与える影響について	生活クラブ事業連合 生活協同組合連合会 「生活と自治」編集室	今川 俊明 野内 勇

3) 新聞記事

日付	見出し発表	媒体
18.4.4	昆虫データ ネットで公開	日本農業新聞
18.4.7	農環研と東大が協定	日本農業新聞
18.4.7	昆虫研究の文献 ネット上で公開	日経産業新聞
18.4.11	画像データベースをウェブで公開	化学工業日報
18.4.14	「三橋ノート」画像DB公開	科学新聞
18.4.20	最新の研究成果紹介	常陽新聞
18.4.22	水田発生は過大評価	茨城新聞
18.4.25	水田の温暖化ガス N ₂ O 発生量、畑の1/4	日経産業新聞
18.4.26	水田で使う窒素肥料の温暖化影響を過大評価	毎日新聞
18.5.2	肥料由来の N ₂ O 発生量 IPCC 数値は過大	化学工業日報

日 付	見 出 し 発 表	媒 体
18 . 5 . 5	日本雑草学会第45回大会開く	新農林技術新聞
18 . 5 . 5	日本雑草学会賞受賞者記念講演要旨	新農林技術新聞
18 . 5 .12	“ クローンタンポポ ” 関東の 4 割	読売新聞
18 . 5 .19	遺伝子組み換えダイズ野外栽培	常陽新聞
18 . 5 .19	ツルマメと交雑率 関係調査 遺伝子組み換え大豆栽培	茨城新聞
18 . 5 .19	遺伝子組み換えダイズとツルマメの交雑調査	毎日新聞
18 . 5 .20	TX 効果で過去最高 見学者数 4 万 5 千人に	常陽新聞
18 . 5 .21	除草剤に強い大豆作り	読売新聞
18 . 6 . 1	気候変動が食と農に与える影響	関西電力メール マガジン
18 . 8 .15	昆虫標本568種 ネットで公開	日経産業新聞
18 . 8 .17	昆虫標本画像 ネットで公開	日本農業新聞
18 . 8 .18	森林の CO ₂ 吸収量計測技術 アジアの専門家に伝授	日刊工業新聞
18 . 9 . 4	農地の洗浄技術実用化を促進	化学工業日報
18 . 9 .23	豊橋技科大と共同研究協定	日本経済新聞
18 . 9 .25	農業環境研究で連携	化学工業日報
18 . 9 .25	豊橋技科大と連携推進協定	日経産業新聞
18 . 9 .26	豊橋技術科学大と連携推進協定	常陽新聞
18 . 9 .29	環境への悪影響抑える 技術成果を発表	日本農業新聞
18 .11 . 1	歴史の手法で生物学（系統樹が様々な学問で見られる意義などについて）	読売新聞
18 .11 . 4	農業と環境を考える	日本農業新聞
18 .11 . 4	成果発表会に当たって	日本農業新聞
18 .11 .14	農地から発生の温暖化ガス増加	朝日新聞
18 .12 .15	「自然共生」生態系チームシンポジウム開く	新農林技術新聞
18 .12 .25	06年農林水産研究10大成果	化学工業日報
18 .12 .26	06年農林水産研究10大成果 農水省が選定	化学工業日報
18 .12 .27	農業技術この一年 10大農林水産研究成果から(下) 農耕地から発生する 温室効果ガスの推定	日本農業新聞
18 .12 .29	輸入増で水質汚染拡大 硝酸性窒素過剰が深刻化	日本農業新聞
19 . 1 . 8	温暖化、稲作直撃	毎日新聞
19 . 1 .10	温暖化で米減収	日本農業新聞
19 . 1 .16	キュウリのディルドリン吸収 低減へ有望台木	日本農業新聞
19 . 1 .16	キュウリの残留農薬低減 カボチャ台木低吸収性品種を利用	化学工業日報
19 . 1 .17	キュウリの残留農薬汚染 台木品種で吸着量に差	日刊工業新聞
19 . 1 .17	冬の昆虫テーマにつくばで科学教室	茨城新聞

日 付	見 出 し 発 表	媒 体
19 . 1 .19	キュウリの栽培 台木の種類で農薬残量に差	日経産業新聞
19 . 1 .26	低吸収カボチャ台木利用	科学新聞
19 . 1 .28	虫の冬越し学ぶ	読売新聞
19 . 2 . 1	農環研が同時計測技術	日刊工業新聞
19 . 2 .18	タンポポ異変 津々浦々	日本経済新聞
19 . 2 .20	タイプ標本ネットに公開	朝日新聞
19 . 2 .21	濁水・害虫大量発生か	読売新聞
19 . 2 .28	カボチャ台木でキュウリ汚染低減	日本農業新聞
19 . 3 . 2	土壌ガス同時計測	科学新聞
19 . 3 .29	傾斜地での作業 安全対策に注目	日本農業新聞

4) テレビ・ラジオ等

日 付	見 出 し 発 表	媒 体
18 . 4 . 3	「いばらきわいわいスタジオ」 - 「三橋ノート」および画像データベースについて	NHK 水戸放送局
18 . 4 . 4	「ランデブー」 - 東京のタンポポについて	J-WAVE
18 . 4 . 4	「おはよう茨城」 - 「三橋ノート」および画像データベースについて	NHK 水戸放送局
18 . 4 .18	「首都圏ネットワーク、いばらきわいわいスタジオ」 - 土壌汚染除去への研究	NHK 水戸放送局
18 . 6 .21	「いばらきわいわいスタジオ」 - 農耕地から発生する温室効果ガスについて	NHK 水戸放送局
18 . 6 . 9	「いばらきわいわいスタジオ」 - 外来植物のリスク評価と蔓延防止に関する研究について	NHK 水戸放送局
18 .10 .23	「スーパーJチャンネル」 - 多摩川で謎の植物大発生（アレチウリについて）	テレビ朝日
18 .12 .10	「ガリレオチャンネル」 - 感じる植物～植物も自立的に生きている～（アレロパシー研究の紹介）	東京 MX テレビ
18 .11 .24	「スーパーモーニング」 - ウォーターレタスについて	テレビ朝日
19 . 1 .11	「筑紫哲也 NEWS23」 - 温暖化時の米生産への影響について	TBS テレビ
19 . 1 .12	「いばらきわいわいスタジオ」 - 土壌残留農薬を吸収しにくいカボチャ台木でキュウリの汚染を低減について	NHK 水戸放送局
19 . 2 . 3	「NEWS ZERO」 - 2060年代の米の収量予測について	日本テレビ
19 . 4 . 1	「プレミア」 - コメの収量予測マップの提供	フジテレビ

3. 一般向け行事及び来訪者

(1) 一般向け行事

1) 農業環境技術研究所で実施した行事

行事名：科学技術週間に伴う農業環境技術研究所一般公開「未来につなげよう 安全な農業と環境」

開催日：平成18年4月19日

来訪者：1,233名

行事名：つくばちびっ子博士2006 - 身近な自然から環境を考える -

開催日：平成18年7月26日、8月2日、8月9日、8月23日、8月30日

参加者：157名（父兄除く小中学生）

行事名：サマー・サイエンスキャンプ2006

開催日：平成18年8月9日～11日

参加者：12名（高校生）

2) 農業環境技術研究所外で実施した行事

行事名：つくばリサーチギャラリー夏休み特別公開「外来植物の脅威」

開催日：平成18年7月29日

開催場所：つくばリサーチギャラリー

行事名：つくば科学フェスティバル2006「小さな昆虫の姿」

開催日：平成18年10月7日

開催場所：つくばカピオ

行事名：アグリキッズ科学教室「冬を過ごす昆虫のすがた」

開催日：平成19年1月27日～28日

開催場所：つくばリサーチギャラリー

(2) その他の見学者・来訪者

平成18年度は、一般見学等70件746名を受け入れた。

年 月	件数	人数	年 月	件数	人数
平成18年4月	1	5	平成18年10月	3	5
5月	12	131	11月	2	52
6月	9	103	12月	7	49
7月	13	194	平成19年1月	1	17
8月	4	17	2月	9	89
9月	4	35	3月	5	49